

メッセージ題「エリコの城壁」 <先週の講壇より>

「そこで、民はときをあげ、祭司たちは角笛を吹き鳴らした。民が角笛の音を聞いて、大声でときをあげるや、城壁がくずれ落ちた。そこで民はひとり残らず、まっすぐ町へ上って行き、その町を攻め取った。」ヨシュア6:20【新改訳】

先日、イギリスのエリザベス女王の葬儀が執り行われました。エリザベス女王は、敬虔なクリスチャンとしても知られており、国民に対しても聖書からのメッセージを何度も語ってきました。その中で私が特に心に残ったのは、1952年のもの、つまり女王として即位した時のものです。「皆さんにお願いします。どのような宗教をお持ちであれ、どうかその日（戴冠式の日）、私のために祈ってください。私がこれから行う厳粛な約束を果たすために、神が知恵と力を与えてくださるよう、また生涯にわたって、神と皆さんに忠実に仕えることができるように祈ってください」

こうした信仰の姿勢、そして祈りの中で、エリザベス女王の70年間の長きにわたる尊い務めが全うされていったのだと、そのように思われたことです。

難攻不落とも思われたエリコの城壁は、神様への信仰と祈りによって崩れ落ちました。まだ見ぬ未来への不安を持ち、人生における城壁を前に苦しむ私たち。でも神様に信頼し、祈り、進み行く時に、城壁は崩され、明日に向かって生きることが出来るのです。

オレンジ郡教会 牧師 榊原のぶ



《 主 の 祈 り 》

天にまします我らの父よ。願わくは御名を崇めさせ給え。御国を来たらせ給え。みこころの天になるごとく、地にもなさせ給え。我らの日用の糧を今日も与え給え。我らに罪を犯す者を我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるし給え。我らを試みに会わず、悪より救い出し給え。国と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

《 使 徒 信 条 》。

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。かしこより来たりて生ける者と死にたる者とを裁き給わん。我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、体のよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

2022年10月2日



礼拝：9時半～  
聖書の学び：11時～



榊原のぶゆき牧師

(714) 827 - 6244 nobu@occc.org  
4872 Bishop St, Cypress, CA 90630  
Facebook: オレンジ郡キリスト教会  
ホームページ: www.occc.org



【教会年間聖句】

「それは平和の計画であつて、災いの計画ではない。将来と希望を与えるものである。」

エレミヤ29:11

☆集會案内☆

日曜礼拝 : 09:30-10:40  
ブレイク : 10:45-11:00  
バイスタ : 11:00-12:00  
みふみ会 : (水) 10:00-  
定例祈禱会 : (水) 18:30-

